



4/15・16 食まち新発田 ラーメン縁日  
県内外から有名ラーメン店が勢ぞろい!

有名ラーメン店が集うイベントが、ヨリネスしばた「札の辻広場」で2日間にわたって開催されました。

県外からは、大阪市と金沢市の2店が出店。県内からは、糸魚川市や上越市などの6店が出店しました。中には、新潟で人気の3店が共同で開発したメニューもあり、ふだんは食べることができないラーメンが食べられるとあって、複数の店舗に並ぶ人も。

来場者は、熱々のラーメンをおいしそうに味わっていました。

高校・大学音楽祭  
3/25 札の辻広場がコンサート会場に 迫力ある演奏に拍手喝采

新発田・新発田南・新発田中央高校と敬和学園大学のジャズバンドなどによる演奏会が、ヨリネスしばた「札の辻広場」で開催されました。広い吹き抜けの会場は、音がよく響いて迫力満点。テレビドラマの主題歌など、なじみのある曲が演奏されると、観客席からは自然と手拍子が湧き起こり、1つの学校の演奏が終わるたびに「アンコール」の声がかかりました。

当日は、演奏だけでなく、ふだんの練習を紹介する学校もあり、訪れた観客は、終始リラックスした様子で演奏を楽しんでいました。



「落谷虹児・中原淳一・松本かつち展」特別内覧会  
3/24 人気挿絵画家の作品が勢揃い! 3人の親族が作品を特別解説

昭和の少女雑誌の人気挿絵画家である落谷虹児・中原淳一・松本かつち。市制施行70周年を記念して、3人の作品が一堂に揃う国内初の展示会が、6月25日まで落谷虹児記念館で開催中です。これに先立ち、3人の子息や親族を招き報道関係者向けの特別内覧会が開催されました。

当日は、3人の作品や今回が初公開となる中原淳一が落谷虹児へ送った「書簡」のほか、親族ならではのエピソードも紹介され、集まった報道関係者は興味深そうに作品を鑑賞していました。

がんばっています! まちづくり

NPO法人 フリースペースみのり  
社会参加の力を育む活動10年

NPO法人 フリースペースみのりは、生きづらさに悩む人が家に閉じこもることなく、仲間や地域とふれ合うことで自信を育み、社会参加の力を



つけていくために活動している団体です。活動を始めて今年で10年になります。

商店街の空き店舗を利用した事務所は、1階がショップ、2階がフリースペースになっています。手作り品の販売や、川柳づくりなどの活動を通じて、訪れた方や会員が和やかに交流しています。

理事長の島津さんは「ここは単なる作業所ではなく、笑顔になれる『居場所』です。人はみんな輝ける場所があります。まずは勇気を出して、1歩踏み出してみませんか」と話してくれました。

地域おこし協力隊「奮闘記」

赤谷地区担当 川邊直子

赤谷の春・フキノトウの苦みに驚き!

赤谷の厳しい冬をなんとか乗り越え、待ち遠しかった春を迎えることができました。とはいえ、今年の積雪量は例年の半分ぐらいだったとか。雪の中で見つけたフキノトウは、都会で食べていたものとは比べ物にならない苦さにビックリ!でも、後を引くその苦味にご飯が止まりませんでした。



赤谷が新緑に包まれると、コシアブラやコゴミ、ワラビ、ゼンマイなど山菜シーズンの到来です。今年は採取の仕方、長期保存するための塩漬けや天日干しのノウハウを伝授してもらい、地域の若い方々といっしょに赤谷の暮らしを引き継いでいきたいです。

4/2 しばフェス 2017 春 ~新発田×しばた~

地元の方々によるさまざまなステージイベントで大にぎわい!

新潟のお笑い集団「NAMARA」がプロデュースするイベントが、ヨリネスしばた「札の辻広場」で行われました。

当日は、地元で活動するの方々によるダンスやマジック、歌の披露などのほか、元読売ジャイアンツ捕手の加藤 健さんによるトークショーなどのステージイベントが行われました。議場では、全編新発田でロケが行われた映画「ミス・ムーンライト」の上映があり、終了後には松本卓也監督による舞台挨拶も行われました。イベントの最後には新発田の名産品が当たる大抽選会も行われ、会場は1日中にぎわっていました。

